

建物および設備における石綿使用状況

北陸電力株式会社

2019年10月調査結果

対象	使用箇所	現状(使用状況等)	備考(対応状況 他)	
石綿を含有する吹付け	設備機器室, 変圧器室等の防音材として壁面や天井に使用の他, 断熱材, 耐火材として使用	<ul style="list-style-type: none"> ・使用箇所を把握し計画的に対策を実施してきている。 ・自社建物: 未対策 0棟 対策済み17棟(囲い込み・封じ込め等の対策をした建物) 	設備更新, 設備停止に合わせて計画的に除去対策を実施していく。また, 今後新たに石綿が発見された場合は, 定期点検を行うとともに, 施錠を行う等の入出管理を徹底する安全管理を行い, 計画的に除去対策を実施していく。	
石綿含有製品	建材	建物の外壁塗材, 耐火ボード, 床材等に使用	<ul style="list-style-type: none"> ・2006年8月以前に使用された建材に含まれていると考えられる。それ以降は石綿含有製品は使用していない。 	撤去又は改修工事に合わせ, 石綿含有の恐れのある既設材料を採取・分析し, 石綿含有の有無を事前調査している。結果に応じ, 適切な工事計画, 処分を講じていく。 成形品であり, 通常状態において飛散性はないが, 定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次, 非石綿製品へ取り替えていく。
	防音材	変圧器の防音材(変電設備)	<ul style="list-style-type: none"> ・8台 	
	石綿セメント管	地中線用の管路材料(送電設備・配電設備)	<ul style="list-style-type: none"> ・亘長 約92km(送電) ・亘長 約24km(配電) 	
	保温材	発電設備(火力設備)	<ul style="list-style-type: none"> ・石綿含有製品残数: 約8, 100m³(全数の約17%) 	
	シーリング材・ジョイントシート	発電設備(火力設備・原子力設備) 訓練・業務設備(原子力研修センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・石綿含有製品残数: (火力)約10万個(全数の約56%) (原子力)約2. 6万個(全数の約65%) (訓練・業務設備) 87個 	
	緩衝材	送電設備の懸垂碍子	<ul style="list-style-type: none"> ・懸垂碍子 約46万個(全数の約30%) 	
	その他	上記以外にも石綿含有製品を一部使用しているが, いずれも成形品であり, 通常状態において飛散性がないため, 修繕工事等の機会に合わせて順次, 非石綿製品へ取り替えていく。		